

【現場除雪事例：H13 青森県 4】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | B4:シートの活用 / C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 洞内地区交差点改良工事 |
| 施工場所 | 青森県十和田市大字洞内字後野～字妻ノ神 地内（国道4号線） |
| 工期 | 平成13年3月27日～平成14年3月5日 |
| 使用機材 / 機械 | 角スコップ（アルミ製）、ツルハシ、ガスバーナー、竹箒 / バックホウ 0.25m ³ 、タイヤショベル 0.40m ³ 、ダンプトラック 2t、ダンプトラック 4t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>路盤、路床に雪が混入しないよう、ブルーシートを敷き（冬期間は毎日作業終了後敷設）降雪があった場合、人力及びバックホウ（0.25m³）で除雪。歩道部において併用させながらの施工ではブルーシートの上に、滑り止めのマットを敷設。除雪の処理は、民家等が近接しているため、バックホウ及び人力により2t～4tダンプトラックに積込み、当社資材置き場に運搬集積。当現場は現道拡幅工事であると共に、民家等とも近接しているため、小型機械により除雪。スコップはアルミ製の軽量かつ、普通より大きめのものを使用。</p> |



電熱マットによる凍上防止と融雪

【現場除雪事例：H13 岩手県 15】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 / C3:振動・騒音対策 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道106号黒沢の5地区他道路災害復旧(13災33号34号35号36号37号38号39号)工事 |
| 施工場所 | 岩手県下閉伊郡川井村黒沢～達首部 |
| 工期 | 平成13年11月2日～平成14年3月7日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、塩カル / モーターグレーダー3.1m級、路面ヒーター大型、タイヤショベル0.3m3級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | モーターグレーダーにて施工範囲（路肩）まで除雪を行う。端部、民家入口は人力にて除雪を行う。車道部は路面ヒーターを使用し残っている雪、氷等を解かす。ヒーターが使用できない所は塩カルを散布する。歩道はタイヤショベルにて通路を確保する。モーターグレーダーは低騒音、排気ガス対策車を使用。 |



路面ヒーター稼動状況

【現場除雪事例：H13 北海道 63】

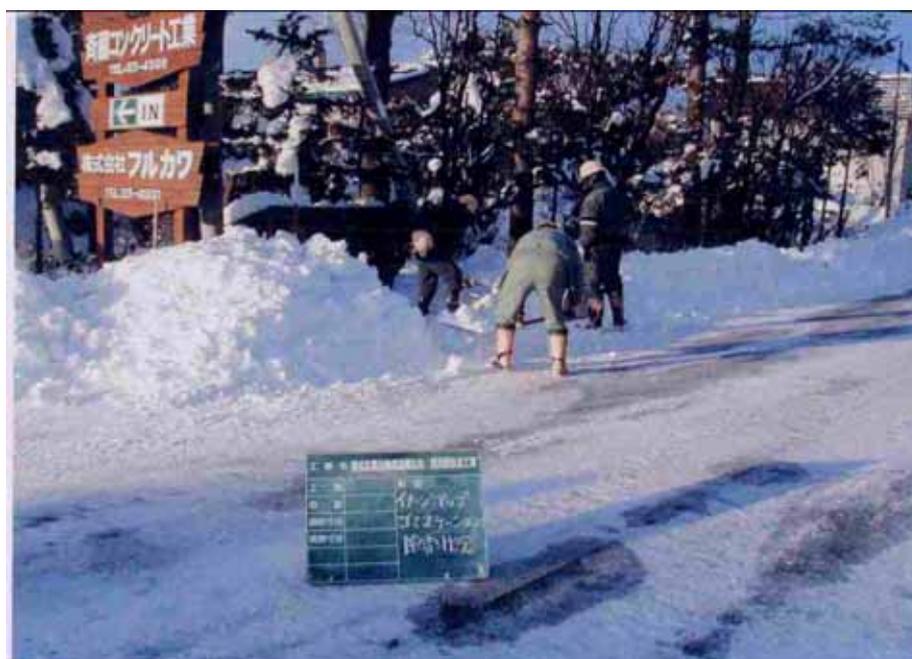
| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | E:地域住民への配慮 / B3:機械（機材）の適切な選定 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道242号 本別町 仏美里橋下部工事 |
| 施工場所 | 北海道本別町仏美里～足寄町郊南 |
| 工期 | 平成13年5月24日～平成14年3月26日 |
| 使用機材 / 機械 | タイヤショベル WS30(0.3m3) |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 本別側の現場出入口には民家が1軒ある為、出入に支障がない様に民家前の通路を優先し、除雪作業を行っています。現場内が狭い為、本体工事に支障の無い様、小型のタイヤショベルを使用した。 |



工事関係車輛及び民家出入口の除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 100】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | C2:住民・通行者の安全 / E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 帯広広尾自動車道帯広市西川西改良工事 |
| 施工場所 | 北海道帯広市川西町 |
| 工期 | 平成 13 年 3 月 27 日～平成 14 年 3 月 18 日 |
| 使用機材 / 機械 | 0.7 バックハウ、0.4 バックハウ、0.3m ³ タイヤショベル、1.0m ³ タイヤショベル |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>当現場の道路は、2本の側道、1本の市道がある。側道1本の使用頻度が、高く速やかに除雪し一般車両走行を優先し地域の支障にならないよう考慮した。地域のためにゴミステーションの除雪まずは、大型のタイヤショベルとゴムのキャタピラーのバックハウにて、道路の確保に努め。その後、小型のタイヤショベルにて一般車を通しながら細かい部分の除雪を行った。</p> |



地域の為にゴミステーションの除雪

【現場除雪事例：H13 北海道 130】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | B1:除雪範囲の限定 / E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 旭川紋別自動車道愛別町立入防止柵設置工事 |
| 施工場所 | 北海道愛別町 |
| 工期 | 平成 13 年 11 月 13 日～平成 14 年 3 月 27 日 |
| 使用機材 / 機械 | 除雪用スコップ / バックホウ (法バケツ付) 0.45m ³ 級、タイヤショベル 1.2m ³ 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | その日のオンカー施工分だけ除雪する。(凍上する為) 用地境界上での作業となるので除雪の雪は、隣地に入れないよう徹底指導している。 |



施工場所除雪状況

【現場除雪事例：H13 北海道 138】

| | |
|------------------|--|
| 除雪工夫分類 | B3:機械（機材）の適切な選定 / E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 一般国道230号札幌市石山交差点改良工事 |
| 施工場所 | 北海道札幌市南区 |
| 工期 | 平成13年7月27日～平成14年1月15日 |
| 使用機材 / 機械 | 0.2m ³ 級バックホウ、0.4m ³ 級バックホウ 0.4m ³ 級、1.2m ³ 級ショベル ローダ 1.2m ³ 級、10t級ダンプトラック 10t級 |
| 現場除雪の工夫・ 留意点等 | 車線減少規制による冬季夜間作業で車線幅が狭く、大部分が縦断であり、0.2m ³ 級バックホウで4tダンプへ積み込み、排雪。又、ショベル積み込み可能なスペースがあれば、バックホウでかき出し、ショベルで積込む。上記については、ショベルで積込めるヤードを、周辺住民の方のご理解をもって行いました。 |



除雪、積み込み、排雪状況

【現場除雪事例：H13 岩手県 2】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 都市計街路犬袋新町線大町地区街路改良舗装の1、2工事 |
| 施工場所 | 岩手県岩手郡岩手町大町地内 |
| 工期 | 平成13年10月1日～平成14年3月20日 |
| 使用機材/機械 | ダンプ/ダンプ2t、バックホウ0.2m3 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 民家の前の雪や歩道の雪は行き場がないので一度、バリケードの囲いの中に入れる。その後それをバックホウによりダンプに積み排雪する。 |
| | |

【現場除雪事例：H13 秋田県 13】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | HA21-40 国道道路改築工事 |
| 施工場所 | 秋田県国道285号 北秋田郡上小阿仁村南沢 |
| 工期 | 平成13年12月27日～平成14年3月15日 |
| 使用機材/機械 | コマツWA100 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 現場内に養魚池への取水口がありますので、除雪した雪が直接河川へ入らないよう注意して、除雪をしています。 |
| | |

【現場除雪事例：H13 山形県 5】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | E:地域住民への配慮 |
| 工事種別 | 道路工事 |
| 工事名称 | 三川新橋下部工（青山地区）工事 |
| 施工場所 | 山形県東田川郡三川町大字青山地内 |
| 工期 | 平成 13 年 11 月 20 日～平成 14 年 3 月 29 日 |
| 使用機材 / 機械 | バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザ 4 t 級 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 工事用道路は碎石の為除雪の際、雪の処理は民地への排雪をさけ道路脇へ排雪する。 |
| | |